

令和3年度鳥取県学校農業クラブ連盟リーダー研修会

6月10日(木)に、智頭農林高校で令和3年度鳥取県学校農業クラブ連盟リーダー研修会が開催されました。リーダー研修会とは、鳥取県学校農業クラブ連盟のリーダーとして資質の向上を図るとともに、各学校間の交流を深め、農業クラブ活動の活性化を図ることを目的に各学校の農業クラブ員対象で行われています。

例年は農業クラブ員が全員参加という大規模なものであり、交流会と宿泊ありの楽しい行事となっていますが、残念ながら昨年度のリーダー研修会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、オンライン開催で交流会なしで行われました。今年度は人数と交流会は制限あり宿泊はなしでしたが、各学校紹介や分科会の討議が活発に行われました。

分科会では本校と智頭農林高校、倉吉農業高校の生徒が3つのテーマに分かれ、討議を行いました。各分科会のテーマは次の通りです。

(第1分科会「単位クラブでできる農業のPR活動には、どのようなことがあるか」第2分科会「農業クラブ員の農ク活動への関心を高め、意欲的に活動に参加してもらうためには何ができるか」第3分科会「農業クラブ活動を通して、農業の魅力を感じてもらい、後継者を増やすためには何ができるか」)

どの分科会でも各自がテーマについて真剣に考え、意見交換ができたことは大きな収穫となり、限られた時間の中で各学校との交流が深められたのは、顧問として嬉しい限りでした。

第2分科会のテーマでも上がりましたが、各学校共に「農業クラブ員を含め農業クラブとは何なのか、活動内容を含め十分に理解できていない」という問題を抱えているようです。顧問として農業クラブ活動を在校生や新入生等にどのような形で宣伝していけるか考え、広報活動をしていきたいです。

分科会での討議



付箋を貼って意見を出し合いました

